

「行政経営のあり方(3つの経営像)」

経営像① 市民から信頼され、共感される行政経営

■経営像の背景

市民とともに課題に向き合い、これまでにない町田市の魅力や価値を「共に」「創り」あげていくためには、市民から共感され、市民から信頼される行政でなければなりません。このため、市民に対して公平・公正・オープンな行政経営を実現することが求められています。

■経営像のイメージ

- ・ これまでにない新たな価値を市民とともに作りあげることで、市民の期待に応え、市民から信頼される行政経営を実現します。
- ・ 時代の変化や様々なりスクを敏感に察知し、信頼感・安心感のある行政経営を実現します。

■市民等からの意見

- ・ 市民からの協力を得るためには、職員の頑張りを伝えるなど行政に対して共感・信頼してもらう必要があると良いと思います（学生ワークショップ）。

経営像② 革新的なサービスを生み出す行政経営

■経営像の背景

町田市が将来にわたって選ばれ続けていくためには、町田市に対する愛着や誇りを醸成し、市民一人一人の満足度を高めていく必要があります。そのためには、先進性、独自性の高い革新的なサービスを行い、持続的に成長していくことが求められています。

■経営像のイメージ

- ・ 最先端の技術を活用した快適で利便性の高い行政経営を実現します。
- ・ 革新的なサービスにより持続的に成長していくことができる行政経営を実現します。

■市民等からの意見

・ 民間で当たり前に行われているICTを活用したサービスを行政でもできるようになることが住民満足度を上げていくことにつながります（行政経営監理委員会）。

経営像③ 強みと魅力を活かした戦略的な行政経営

■経営像の背景

人口減少や高齢化が進み、自治体間における行政対応力に差が生じるようになると、まちの個性や魅力を打ち出すことができない自治体は埋没してしまいかねません。そのため、町田市の持つ強みや魅力を活かした町田市ならではの質の高い行政経営を行うことが求められています。

■経営像のイメージ

- ・ 町田市の持つ強みや魅力を活かした行政経営に取り組みます。
- ・ 町田市として特に注力していく重点事業や主要事業に集中的な投資を行います。

■市民等からの意見

・ 課題解決のための重要な視点として「戦略性」が最も選ばれました（市民ワークショップ）。

・ 町田市の行政経営において持つべき視点として、「町田市の強みを活かし、町田市ならではの事業や全国に先駆けた事業を展開していく」と約4人に1人が回答しています（市政モニターアンケート調査）。